

令和元年6月17日現在

機関番号：32501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2014～2018

課題番号：26370772

研究課題名（和文）東北地方における戦国大名の権力構造に関する研究 伊達氏を中心に

研究課題名（英文）A Study on the Power Structure of Sengoku Daimyo in Tohoku Region-Focusing on Date-shi

研究代表者

遠藤 ゆり子 (Endo, Yuriko)

淑徳大学・人文学部・准教授

研究者番号：70612787

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,900,000円

研究成果の概要（和文）：戦国時代の伊達氏を中心に、東北地方における戦国大名の権力構造を明らかにするために、関係する文献・史料を収集するとともに、収集した史料のデータベースを作成した。史料のデータベースは報告書としてまとめ、未翻刻の史料については翻刻を行って史料紹介を行った。それらの研究を踏まえて、伊達氏の研究史を整理するとともに、伊達氏をはじめとする戦国大名の権力構造や領国支配などに関する論考を執筆した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本の戦国時代に関する研究状況は、対象とする地域によって異なっている。東北地方については、戦国遺文などの史料集が無いなど、基礎研究を進めることが重要な課題となっている。そのようななか、本研究では各自治体などで刊行されてきた史料集や未紹介の史料を収集し、データベースを作成して報告書としてまとめるとともに、史料紹介を行った。また、当該期の研究史を把握するために収集した文献をもとに、伊達氏の研究史整理も行った。これらによって、東北地方の戦国史研究の進展に貢献することができたと思う。

研究成果の概要（英文）：I collected books, papers, and historical materials in order to clarify the power structure of the Sengoku daimyo in the Tohoku region, including Date-shi in the Sengoku period. The historical materials I collected were compiled into a database. I compiled these databases in a report and introduced historical materials after deciphering. Based on those studies, I organized the study of Date-shi, and wrote a paper on the power structure and rule of territory of Sengoku daimyo including Date-shi.

研究分野：日本中世史

キーワード：東北地方 戦国時代 戦国大名 伊達氏

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

戦国時代の大名研究は、1980年代以降、各地の自治体史が精力的に史料収集調査を実施し、多くの史料編が刊行されたことによって、基礎研究が進展してきた。『戦国遺文』など大名家の受給・発給文書をまとめた史料集や、『戦国人名辞典』(吉川弘文館、2006年)などの辞典類が刊行されたのも、それらの成果によるところが大きい。また1990年代頃からは、各地域の大名ごとに蓄積されてきた研究を比較分析し、戦国大名としての特質を総合的に検討し、明らかにしようとする研究が見られるようになっていた。

東北地方においても、各地の自治体史史料編が刊行され、伊達氏に関しても『仙台市史』『米沢市史』などによって多くの関係史料が紹介されていた。しかし、『仙台市史』なども伊達政宗の発給文書については収めているが、伊達政宗の受給文書や伊達家として家臣が受発給した文書は収めてはいない。そのため、関係史料の全体像が見えず、基礎研究を進めてその権力構造を分析することが困難な状況にあった。

2. 研究の目的

上述の研究状況を克服するため、本研究では戦国時代の伊達氏を中心に、南東北地方の戦国大名や国衆の関係史料を収集し、データベース化することを第一の目的とした。それにより、次の3点を追究しようとしたものである。すなわち、伊達氏の支配構造を明らかにする、伊達氏の内政・外政の実態を把握する、東北地方の戦国大名の特色を、他地域と比較しつつ検討を加えることである。

3. 研究の方法

- (1) これまで蓄積されてきた東北地方における戦国大名研究の成果を把握するため、関係する文献を収集し、分析を加えた。
- (2) 南東北地方の自治体史を中心に、各自治体史に掲載されている戦国時代の史料を収集し、史料カードを作って整理した上で、史料のデータベース(史料目録)を作成した。
- (3) 未翻刻の史料については所在を確認し、閲覧、デジタルカメラで撮影する調査を実施して、史料の翻刻と紹介を行った。その上で、史料について分析を加えた。
- (4) 上述の(1)～(3)を踏まえて、戦国大名の権力構造について検討した。

4. 研究成果

(1) 国会図書館・宮城県図書館・福島県立図書館などで、文献の収集調査を実施した。特に伊達氏に関しては、これまでの研究史を整理し、論考としてまとめることができた(遠藤編『シリーズ・中世関東武士の研究 第25巻 戦国大名伊達氏』所収)。

(2) 伊達氏と関わる、南東北地方の主な自治体史史料編に掲載されている、戦国時代の史料については史料カードを作成し、文書目録として必要な情報を入力したデータベースを作成することができた。内容の確認・校正作業を終えることができた分のデータベースは、報告書(『東北地方の戦国文書データベース 伊達氏の基礎研究のために』)に掲載した。

同書に収めたのは、『大日本古文書 家わけ三 伊達家文書』『仙台市史 資料編1 古代・中世』『米沢市史 古代・中世史料 資料編1』『白石市文化財調査報告書第40集 伊達氏重臣 遠藤家文書・中島家文書～戦国編～』『白石市文化財調査報告書大53集 伊達氏重臣 遠藤家文書～戦国編2～』『白石市文化財調査報告書第47集 片倉小十郎景綱関係文書』『福島県史7 古代・中世資料』『桑折町史5 資料編 古代・中世・近世史料』に所収される、戦国時代の史料データベース(文書目録)である。

なお、『仙台市史 資料編10～13 伊達政宗文書～』は、伊達政宗発給文書を編年順に収録しているため、本報告書からは除外した。

(3) 仙台市博物館・宮城県図書館・東北歴史博物館などで、資料調査を実施した。特に未紹介の史料など、必要に応じてデジタルカメラで撮影した。それらの一部については、翻刻をして史料紹介を行った(『伊達天正日記』所収「野伏日記」の一考察 政宗による民衆の軍事動員を考えるために、『市史せんだい』Vol.27など)。

(4) 戦国大名の権力構造を明らかにするための論文・書籍をまとめることができた。特に、戦国大名の内政に関わる、東北地方の村町の実態について明らかにした。かつては、東北地方において、戦国時代の段階に村町が存在したことは、ほとんど注目されてこなかった。

しかし、本研究で伊達領国・田村領国を事例に分析を進めたことで、戦国時代の東北地方における村町の存在が明確となった。また、新たに紹介した史料によって、その実態をさらに追究することができた。

以上のように、本研究で東北地方の戦国時代に関する主な史料をデータベース化したことによって、これを土台として、戦国大名の権力構造のみならず、東北地方の戦国史研究を進展させていくための基礎を築くことができた。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計5件)

遠藤ゆり子「『伊達天正日記』所収「野伏日記」の一考察 政宗による民衆の軍事動員を

考えるために - 』『市史せんだい』Vol.27、2017年、査読無、p.23～p.49
遠藤ゆり子「戦国時代における田村領の『熊野山新宮年貢帳』と村落」『史苑』192号、
2015年、査読有、p.145～p.166

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 7 件)

遠藤ゆり子編(遠藤ゆり子・黒嶋敏・長谷川伸・大石直正・菅野正道ほか)『シリーズ・中世関東武士の研究 第25巻 戦国大名伊達氏』戎光祥出版、2019年、357頁(p.1～p.51、p.350～p.357)

南奥羽戦国史研究会編(遠藤ゆり子・戸谷穂高・佐藤貴浩・高橋俊介)『史料選書7 伊達天正日記 天正十五年』岩田書院、2018年、130頁(p.1～p.11)

青森県史編さん通史部会編(佐藤健治・七海雅人・白根靖大・柳原敏昭・中村和之・遠藤ゆり子・関根達人・金子拓ほか)『青森県史通史編1 原始・古代・中世』青森県、2018年、787頁(p.621～p.635、p.640～p.666)

遠藤ゆり子『中近世の家と村落』岩田書院、2017年、395頁

遠藤ゆり子編(遠藤ゆり子・菅野正道・垣内和孝・佐藤貴浩・金子拓・熊谷隆次・松岡進・佐々木徹)『東北の中世史4 伊達氏と戦国争乱』吉川弘文館、2016年、293頁(p.1～p.11、p.61～p.62、p.242～p.208)

遠藤ゆり子『戦国時代の南奥羽社会 大崎・伊達・最上氏』吉川弘文館、2016年、340頁

米沢市上杉博物館編(角屋由美子・遠藤ゆり子ほか)『伊達氏と上杉氏 館山城跡国史跡指定記念』米沢市上杉博物館、2016年、127頁(p.113-p.120)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

(1) 報告書

遠藤ゆり子『東北地方の戦国文書データベース-伊達氏の基礎研究のために-(平成26年度～平成30年度科学研究費補助金 基盤研究(C)「東北地方における戦国大名の権力構造に関する研究-伊達氏を中心に」研究成果報告書 課題番号26370772)』2019年、103頁

(2) シンポジウム・講演

遠藤ゆり子「(基調講演)米沢時代の伊達氏と上杉氏」米沢市上杉博物館、2016年11月19日

遠藤ゆり子「(伊達政宗生誕450年記念シンポジウム・講演)戦国時代の村・町支配」淑徳大学東京キャンパス、2017年9月23日

遠藤ゆり子「(特別展 伊達政宗 生誕450年記念-記念講演)伊達政宗とその親族」仙台市博物館、2017年10月28日

遠藤ゆり子「(淑徳大学・板橋区教育委員会共催講演)伊達政宗と母」淑徳大学、2017年12月5日

6. 研究組織

(1) 研究代表者

遠藤ゆり子 (ENDO, yuriko)
淑徳大学・人文学部歴史学科・准教授
研究者番号：70612787

(2) 研究分担者

(2) 研究協力者

高橋 充 (TAKAHASHI, mitsuru)
福島県立博物館・学芸員

阿部 浩一 (ABE, kouichi)
福島大学・行政政策学類・教授

佐々木 徹 (SASAKI, toru)
仙台市博物館・学芸員

竹内 美里 (TAKEUCHI, misato)
淑徳大学・人文学部歴史学科 (卒業生)

梅崎 渉 (UMEZAKI, wataru)
淑徳大学・人文学部歴史学科 (卒業生)

岩田 芽依 (IWATA, mei)
淑徳大学・人文学部歴史学科

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。